

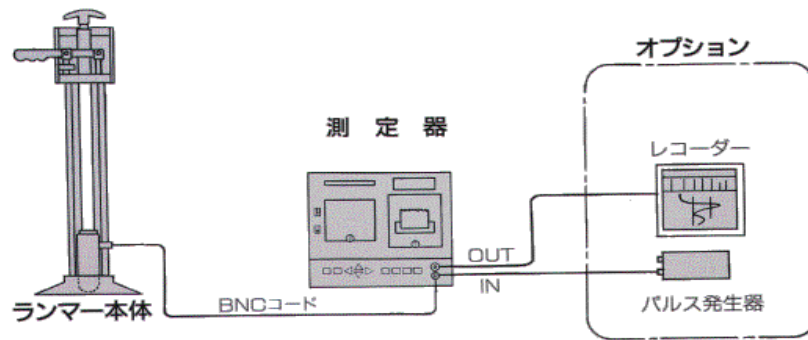
衝撃加速度測定装置 (JSE-367G)



概 要

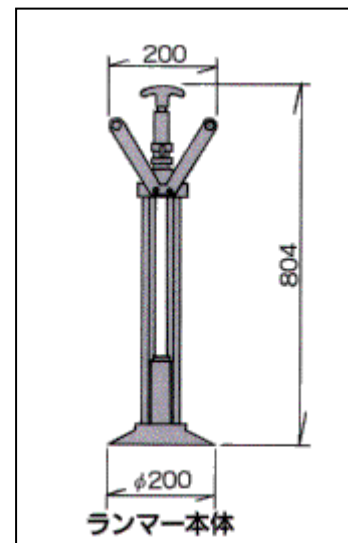
本装置は、工事現場などにおける土の密度の大きさを測定するためのもので、従来の方法として、土を砂に置き換えた砂置換という方法で土の密度を測定していましたが、装置が大がかりなことと、測定結果が出るまで数日間を要するなどの難点が生じていました。従って、これらの難点を解決し、作業の能率化を図るために開発されたのが今日の製品です。

構成図



ランマー本体

支 柱 3本支柱固定型（水平器付）
 ウェイト落下方式 ワンプッシュレバー式落下装置
 外形寸法 $\phi 200 \times 804$ Hmm
 重 量 約 7.9 Kg



測定器

名 称	仕 様
チャンネル数	1 CH
変換器	TEAC(株) 電圧型加速度センサー
入力レンジ	3.67G 固定
精 度	3.67G $\pm 1\%$ 外気温 -20 $^{\circ}$ C ~ +40 $^{\circ}$ C
ピーク値	(ホールド機能付) リアルタイムにデジタル表示

名 称	仕 様
アナログ出力	± 3.67 V
記 録 (ピーク値)	サーマルプリンター
データメモリ	MAX 60 データ
電 源	AC100V バッテリ内蔵

付 属 品

BNC ケーブル×1、記録紙×1、測定器用充電ケーブル×1
 六角レンチ×1、ウェイト固定爪×1、ロックナット締め付け棒×2
 ランマー収納ケース×1、加速度確認棒×1